

第8 安心できる年金制度の確立

公的年金制度は国民の老後の安定した生活を支えるセーフティネットであり、持続可能で安心できる年金制度を確実に運営する。

1 持続可能で安心できる年金制度の運営

11兆2,438億円(11兆469億円)

恒久化された基礎年金の国庫負担割合2分の1をはじめ、一体改革で成立した年金機能強化法に基づき施行されている措置を実施し、長期的な給付と負担の均衡を図り、年金制度を将来にわたって持続可能なものとする。

2 正確な年金記録の管理と年金記録の訂正手続の実施

25億円(45億円)

年金記録の確認等ができる「ねんきんネット」について、「年金の日」(毎年11月30日)をはじめとする様々な機会をとらえて、利用者の拡大を図るための周知等を行う。また、未統合記録については、解明に向けた取組を実施していく。

さらに、年金記録の訂正手続を円滑に実施する。

3 日本年金機構による公的年金業務の着実な実施(一部再掲・2参照)

2,709億円(2,766億円)

日本年金機構において、年金制度の安定的な運営と負担の公平を確保するため、厚生年金保険の適用調査対象事業所の適用促進対策や国民年金の保険料収納対策を推進するとともに、引き続き、年金記録の管理、適用、徴収、給付、相談等の各業務を正確、確実かつ迅速に行う。

国民年金の保険料収納対策においては、特に、高所得者への強制徴収の徹底を図るため、控除後所得350万円以上かつ未納月数7月以上の全ての滞納者に督促を実施する。

給付の業務においては、特に、障害年金の認定事務を円滑に実施するため、障害認

定医の確保等による審査の充実を図るとともに、障害年金制度の一層の周知を行う。

4 日本年金機構における不正アクセスによる情報流出事案を踏まえた情報セキュリティ対策【新規】(再掲・3、後掲・98ページ参照)
17億円

日本年金機構における不正アクセスによる情報流出事案を踏まえ、個人情報インターネット環境に置かないシステムの構築等情報セキュリティ対策の強化を図る。